



ふじてんえんけいず
綴プロジェクト作品 富士田園景図 葛飾北斎 筆

原本所蔵：スミソニアン協会フリーア美術館 寄贈先：墨田区（収蔵：すみだ北斎美術館）

Facsimiles of works in the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C.: Gift of Charles Lang Freer, F1902.48, F1902.49.

公開情報
二〇二〇年二月十一日（火）〜三月八日（日）、同綴プロジェクト作品をすみだ北斎美術館にて公開します。休館日など詳細は美術館公式サイトにて。



詳細は、公式サイト
でご覧いただけます。
global.canon/ja/tsuzuri

「綴プロジェクト」は、貴重な日本の文化財を高精細複製品として制作し、オリジナルの保存と複製品の公開を目的とする社会貢献活動です。今回、フリーア美術館所蔵で門外不出の葛飾北斎の肉筆画13点の複製品を制作し、すみだ北斎美術館に寄贈、里帰りさせました。日本では観られない貴重な作品を身近に鑑賞する機会を提供していきます。



「富士田園景図」は、風景を描いた六曲一双屏風では、おそらく北斎唯一の作品です。上質の紙、絵具や金の贅沢な使用から、上層階級から依頼されたものと考えられています。フリーア美術館が所蔵する中でも保存状態もよく美しい逸品。高精細複製品なら、全体を眺めてわかる構図の美しさも、間近で感じる繊細な筆遣いも堪能していただけます。

日本の美を、人へ、未来へ、伝えていく。

版画でも、肉筆画でも技を究めた北斎。北斎には珍しい、風景を描いた大判の屏風、「富士田園景図」。右隻奥、真っ白な富士がそびえ、手前に広がる農村は左隻へと続いていく。雲や金砂子、伝統的な日本画の手法を駆使して奥行きを出す技は見事。画面から、景色がジオラマのように浮かびあがる。一方で、自然や人物を描く繊細かつ明瞭な線、多彩な要素の絶妙な配置、そして黄色と緑の色使いは北斎の版画そのもの。浮世絵と肉筆画の技巧を融合させた貴重な傑作である。

北斎、日本に帰る

Vol.06

綴プロジェクト作品（高精細複製品）
『富士田園景図』 葛飾北斎 筆

綴TSUZURI
文化財未来継承プロジェクト

Canon

キヤノン株式会社 〒146-8501 東京都大田区下丸子3-30-2 global.canon